

牛乳パックで ゆらゆら灯籠

宇治の老人ホーム

宇治市の老人ホームで19日、入居者が牛乳パックで作った灯籠約230個に明かりがともり、幻想的な光景が広がった。

老人ホーム「京都ゆうゆうの里」は例年は盆踊りを屋上でするが、今夏はコロナ禍で見送りに。入居者490人に元気を出してもらうと考えた。

パックを切り抜き、好きな絵や文字、色紙を付け

た。LED電球を入れると、フロアが白や赤、緑などの光に染まった。

8個作った萩森静子さん(88)は「作り出したら止まらず、暑さを忘れるくらい」と話した。

(小西良昭)



手作りの灯籠の光を楽しむ入居者や職員 宇治市